

How to make ROOM

好きなお部屋の作り方

大人スタイルのインテリア・アイデア

ライフスタイルや暮らしへのこだわりは、人それぞれに違うもの。完成度の高いインテリアを実現できれば、日々の暮らしがさらに心地よく、豊かになります。目指したいのは、上品さの中に遊び心も取り入れた、大人スタイルのインテリア。今回は、異なる5つのスタイルをピックアップしてご紹介します。

Stylish Modern



planning

風と光を贅沢に楽しめるオープンリビング。天井まで届くドアが、空間にさらなる広がりを与えます。リビングとダイニングに段差をつけて床を貼り分け、立体的に空間を使い分けています。また、光と風を通す採光階段も、空間に奥行きが生まれます。

styling

モトーンを貴重に、無駄な装飾のない小物でコーディネート。あえてトーンや素材感を合わせすぎないようにしたり、古いものと現代のものを組み合わせたりすることで、多様なカルチャーを受け入れる柔軟性のある大人の感性を表現しています。

Vintage Style



planning

レトロな心地よさを持つヴィンテージスタイルは、レンガの壁がポイント。深い色調の建具に、木肌感のあるオークの床の組み合わせが古い味わいと絶妙にマッチ。鉄の窓枠もヴィンテージの雰囲気をさらに盛り上げています。

styling

ブラック×ブラウンの家具にグリーンを無造作にコーディネートし、決めすぎないラフなイメージに。タイポグラフィのアートパネルもオススメアイテム。素材にスチールやアイアンを取り入れたものや、天然木の素材感が引き立っているマットな質感のものを選んでヴィンテージ要素を取り入れるのも◎です。

Villa Resort



planning

閉めても隣室とゆるやかにつながる、透明ガラスの間仕切りはオススメのアイデア。ドアと一体の袖ガラスは、扉を閉じていても玄関の光を取り込めたり、ガラス越しに家族の気配も感じられます。天井に埋め込んだ照明と勾配天井が広いLDKのアクセントになり、リゾートのようなくつろぎ感をもたらします。

styling

グリーンや素朴な小物でリラックスをテーマにコーディネート。木の心地よさやナチュラルな雰囲気を大切に家具選びがカギ。お気に入りのものをディスプレイできる「見せる収納」は、お部屋のテーマをわかりやすく表現できます。

Casual Style



planning

白をベースとしたインテリアに、デザイン家具やカラフルな小物をあしらったポップな空間。ブルーの壁と採光窓が3つ並んだドアがお部屋のアクセントになっています。白いキャンバスのようにシンプルな空間をベースにすると、「好き」なテイストを詰め込みやすくなります。

styling

たくさん色を使うのは難しそうと思いがちですが、上記のように空間をキャンバスに見立てて白くまとめることで多色使いのハードルはぐっと下がります。カラーをポイントにするならシンプルなデザインのものを選ぶと、全体がまとまったイメージになります。

Japanese Modern



planning

洗練された和の佇まいを表現するには、和紙や格子などの素材やあかりを上手に活かすことがポイントです。和紙調ガラスの間仕切りやドアの格子がリズムを感じるアクセントになっています。建具や床は明るめのものをチョイスし、重くなりすぎないイメージでモダニズムを表現します。

styling

桐や籐を使った小物や美しく絵付けされた焼き物などわかりやすい「和」の素材が目が行きがちですが、端正な表情を持つモダンな空間に仕上げるには、直線的なイメージを大切にすることが大切です。

Customer's Voice

実際に建てられたお客様の声



「木の家に、確かな安心を約束したい。そんな願いをこめて生まれた、「テクノストラクチャーの家」。木と鉄を組み合わせたテクノストラクチャー工法の強さと安心の家に暮らす、実際に建てられたお客様の声をご紹介します。今回の訪問先はK様邸です。

House Concept is...

「デザイン性と機能性を両立した、世界にひとつの家」

「地震に強い構造」と「信頼できる設備」の2つが決め手となり、テクノストラクチャーを選ばれたK様。設備はショールームへ8回も足を運んで選び、太陽光発電システムや温水床暖房を採用。外張り断熱工法「くるみ〜な」にプラスしてリビングを部分断熱強化するなど、住み心地にも徹底的にこだわられました。「床暖房は足下が冷える女性にはおすすめ。断熱強化したリビングは、冬も暖かくて居心地も抜群」と、住み心地に大変満足しておられました。K様邸のLDKは、白を基調としたシャープなシンプルモダンスタイル。ダークブラウン色のキッチンで空間を引き締め、木製の家具やキッチン上の曲線デザインの天井、間接照明などが、空間に暖かみを添えています。LDKには大理石を模した柄のフローリングを採用。高級感があり、傷が付きにくいので、室内で簡単な運動をされる旦那様もお気に入りです。

K様邸の1階はキッチンを中心として回遊できる間取り。玄関やキッチンから食品庫へ直線で移動で

き、買い置き品もすぐに片付けられて散らからない、と使い勝手抜群の様子。また、勝手口にはゴミ箱を置くための土間があるなど、使う場所に最適な収納が。カップボードには普段使いの食器や調理機器を収納して、動線を最短に。効率的な家事がこなせることで、奥様にゆとりの時間が増えたようです。

K様邸の特徴は洗面室とバスルームが2階にあること。「洗濯して、干して、取り込んで、置く、という動線がワンフロアで済むので、とってもラク」と奥様。1階を共用、2階を家族のプライベートスペースと住み分けられています。バリ風のバスコートがあり、酸素浴で身体の芯まで暖まるバスルームは、旦那様の癒し空間だそう。また、広めの2階ホールは、洗濯物を畳んだり、雨の日には洗濯物を干したりとオールマイティに使える便利なスペース。熟考した間取りや工夫で、ライフスタイルにあった快適な住まいを実現されたK様邸。「夫婦が協力して話し合えて、楽しかった」と話された笑顔が印象的でした。



自由設計ならではの「わが家のライフスタイルにあった住まい」を建てられたK様。「夫婦が協力して話し合えて、楽しかった」と旦那様。住まいづくりは家族の現在や未来について、お互いを確認できる充実した時間だったようです。